

俺は昨日
奇妙なサイ
サイトで手
に入れた
催眠アプリ
の入り口。
スマホを手
に歩き回
る。
だが誰へか
けようかと
躊躇している
うちにな
ってしまった。
放課後

そして
俺は天敵に
出くわした。

よおっ！○○ツ！
相変わらずポツチだな
あははっ！！

げえ花南？！
かなん
まだ帰って
なかつたのかよっ！



こいつはにしもり かなん西森花南
子供の頃から知っている
幼馴染……。
というよりは犬がボールに
じゃれつくように昔から
こいつにイジメられている。

殴りつけたいという程ではない。
だが花南の遊戯でいつも俺は
煮え湯を飲まされている。
こいつにだけは催眠アプリの
ことは知られたくない。
また、弄ばれてしまう。

でさ、廊下でコソコソ
スマホ見ながら
何してたんだ？
もしかしてエロサイト
とか見てたのか？
ならキモすぎしょっW

ちよつと
あたしに見せてみるよ

マズいっ!!
一番知られたくない
ヤツに催眠アプリを
知られてしまっ!!

花南はスマホの先端に指をあて、ひよいつとテコの原理で押し下げられ画面を覗き込まれる。しまった。



はあ……?!
催眠アプリと
好みの女性と
エッチしよう……!!
!?

……えっ？あんなマジ?!
催眠アプリって……
しかもこんな安っぽいのを
信じてるの？
きつしよマジひくわー
童貞拗らせすぎつしよ

でもまあ
あんたみたいな非モテが
こういうのにもなんとなく
すがりつくのわかるわー

花南は憐憫のこもった眼で
俺をにらみつける。
——終わった。
そう思った時、
花南は想定外の事を口にした。

それ催眠アプリって
ヤツ...?
かけてみるよあたしに。
万が一にもってことが
あるかもしれないぞW

でもまあ
無理だよな
お前は昔から
意気地なし
だからなあW

なあっ!?

花南は小馬鹿にした
態度で挑発する。
俺の事を明らかに
あざわらっていた。

花南の罵言はどんどん
饒舌になっていく。
俺は堪忍袋の緒がブチブチと
切れていくのを感じた。

どうせ廊下を
ほつつき歩いてたのも
催眠(笑)をやる度胸も
なくて途方に暮れてた
んしょつW

くふつW
想像したら
情けなさ過ぎて
いつそ悲しくなってきたわ

畜生!!
好き勝手言いやがって!

俺は花南への腹立たしさと
凶星をつかれた情けなさ
破れかぶれで催眠アプリの
画面をタッチした。



くらえっ!!


キュッ

催眠ボタンを
タッチするとスマホから
ノイズ音が一瞬流れた。
ただそれだけだった。

はあ何言ってるんだ？
あたしが催眠に
かかったから
あかしの勝ちだろ？

だから罰として
フェラチオしてやるから
覚悟しとけよ童貞くん♪

花南の言葉に
俺を引っかけようと
する様子は無い。
まさか本当に
催眠にかかって……？



しばらく花南と会話したが
花南の話す内容は当を得ず
まるで酔っている雰囲気だった。
心はここにあらず
どこか夢心地……。

花南はこれが罰ゲーム
だと言っ
俺に服を脱げと命令した。
俺は彼女の言う通りにし、
丸裸になった己の肉棒を
花南の前に晒した。

はあっ♥ふう♥
あんた中々良い千んぽ
もってるじゃん
童貞のくせに……♥

しかも
千んぽくっさ♥
ちやんと
洗ってる？

なわ…
ぽん

花南って
意外に胸あるよな

非現実的な光景が
眼下に広がる。
ヤバい。本当に
催眠をかけている……！
できて

しかもチンカス
ついでに
キモすぎ
ふう♡スンスン♡

なわ...

そんな俺の臭いの
チンポの臭いの
すきなのか?

ヤバ♡
ほんとにくっさ♡
ドキする♡♡

馬鹿そんなわけ
ないでしょ♡

花南がチンポの臭いで
発情するように
アプリで設定をいじった。
花南は鼻を鳴らしながら
俺の肉棒の臭いをしきりに
嗅いでいる。

ほらっ
もつと嗅いでみて
いいんだぞ

なわ...

ぞぞぞ

ふっ

ふっ

ふ

くはっ♥はあ♥
変態チンポのくせに
オス臭キツすぎ...♥
すんすんっ♪

我慢汁垂れて
チンポバキバキだし
すう...はあ♥
くさすぎ♥

花南は黙ってれば
クラスで一二を争う
美少女だ。難がある性格の
もつとも男子人気は低い
せいで男子人気は低い
みたいだが。

んじん
ふゆる
♡♡♡
きエふ
つグつ
つ味
♡♡

うおっ!
花南勝手に
チンポを舐めるなっ

うんふっ♡ぢゆる♡
これはいなある♡
罰ゲームなんだし
黙ってムエラ千才されろ♡

んん

んん
あほ♡

んん
しりしり♡

んん

んん

んん

アッ
びりびり

ん
ろ

ぐおっ!
おおおっ!!

うむっ♡
じゅるる♡
ん♡
ん♡
ん♡
っ♡
♡

ん
ろ

背筋に甘い電流が走る。
花南は喉奥まで
ゆっくりとチンポを飲み干す。

千ポの牡臭さが
鼻から抜けてっ
んふっ♡ふっ♡
じゅるっ♡じゅるっ♡

花南は口を窄めて
必死に肉棒を愛撫する。
普段の花南からは
想像できないエロさだ。

んっ♡じゅるうっ♡
口元をゆるゆるにして
あんたって♡
本当にキモすぎ♡♡

ベロが裏筋を刺激して
マジ最高
花南がこんな
ドスケベだったなんてな

ビュッ

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

ビュッ

んっ!
調子にのるなっ♡
これはお前の♡
罰ゲームなんだから♡
だまって搾精されろっ♡
♡

花南は主導権を握ってるのは
自分と言わんばかりに
口淫をより一層激しくする

くおっ!
花南の本気フェラ
やべえ!



チンポの臭いが
どんどん強くなってくる
お前ももうすぐ
イキそうなんだな? ♡

あたしがロマンコで
全部ザーメン抜き取って
やるから覚悟しろっ ♡ ♡

アッ
アッ
アッ

アッ ♡

アッ ♡

アッ
アッ
アッ

日頃の恨みを晴らすべく
俺の射精と同時に
花南がイクようにスマホで
催眠パラメーターをイジる。



次から次へと出てくる精液を花南の喉まんにこに流し込んでいく。

全部飲めよ
花南っ!

花南の体が
ビクンっとはねる
どうやら俺と
同調して
イッたようだ。

ぐんぐんっ♡
ぐんぐんっ♡

ビクッ

ビクッ

ビクッ

グクッ♡

花南はポタポタと
飲み切れなかつた精液を
舌からこぼれ落とす。

んちゅっ♡ちゅっ♡
濃くて量多すぎると♡
んふっ♡ぢゅるるっ♡

ぢゅるっ♡ぢゅるっ♡
すごっ♡さっきより♡
オス臭キツくなっ♡
チンポもどんな♡
大きくなっ♡



折角射精してやったのに
ザーメンこぼしやがったのに

ビクビク

は

は

は

ゲロ

今から罰として
俺が花南を
オナホにしてやるからな
覚悟しとけよ

ビク

ビク









XX:XX

催眠アプリ
好みの女性とエッチしよう♡

開始











































それ催眠アプリって
ヤツ...?
かけてみるよあたしに。
万が一にもってことが
あるかもしれないぞW

でもまあ
無理だよな
お前は昔から
意気地なし
だからなあW

ほらっ
もつと嗅いでみて
いいんだぞ

ぞぞぞ

なわ...

ふっ

ふっ

ふ

くはっ♥はあ♥
変態チンポのくせに
オス臭キツすぎ...♥
すんすんっ♪

我慢汁垂れて
チンポバキバキだし
すう：はあ♥
くさすぎ♥

